

平成 26 年度 群馬パース大学 FD 活動報告書

平成26年度は、前年度までのFD活動の実績に基づき継続して活動を行うとともに、ピアレビューの定着に取り組んだ。また、授業評価については、学生への即時対応が可能な授業中間アンケートの奨励や学外実習評価アンケートの導入準備を行う等の新たな活動も加え、教育の質向上に向けて着々と体制を整えてきた。

1. 学生による授業評価の取り組み

(1) 授業アンケートの実施と結果の公開

例年通り、学生による授業アンケートを実施した。過年度の課題として学生のアンケートの回収率にばらつきがあったことから、周知方法や回収方法について検討を行い、回答率90%を達成した。結果については、科目ごとの集計結果をpdf化し、自由記載も含めてホームページ上で広く閲覧できるようにした。

(2) 授業中間アンケートの奨励

平成26年度後期より、授業期間中に学習状況を確認するとともに授業の改善すべき点を明らかにし、学習の促進と授業の迅速な改善を保障することを目的として、授業中間アンケートのひな形を提示し、単位認定者による実施を奨励した。実施時期は講義の中間時期とし、内容は「授業のわかりやすさ」、「授業準備の状況」、「教材等の使い方」、「授業の進め方」等、学生の意見を受けてすぐに対応可能な項目とした。

(3) 学外実習評価アンケートの検討

学外実習評価アンケートの検討を看護学科の委員を中心に行った。平成27年度の実施に向けて、パイロットスタディを行った。

2. FD研修会・FDワークショップの開催

(1) FD研修会の開催

8月21日(木)13:30~15:00、「Moodleの活用と課題」として、群馬大学の浜元信州先生、牧野孝俊先生による講演を行った。教員の参加は43名(73%)であった。事後アンケートでは「非常に参考になった」、「参考になった」を合わせて90%であり、e-learning等学生の学習方法の工夫についての関心が高いことが伺えた。研修会の様子は、ホームページに掲載している。

(2)FDワークショップの開催

平成 26 年度研修会の事後アンケート結果で要望が多かった、「学生に役立つ教材の作り方・使い方の工夫」をテーマにワークショップを企画し、平成 27 年 2 月 17 日(火)15:00~17:00 に開催した。42 名(71%)が参加し、ワールドカフェ形式(コアメンバーのみ残り、グループ全体が流動しながら、それぞれのグループの課題の集中型討議、ブレインストーミングを行うグループワーク)で日常の問題意識や創意工夫を共有した。事後のアンケートでは、98%が「参考になった」と回答した。グループワークの成果(発表資料)は pdf にし、アンケート結果とともに教員に回覧し、学びを共有する機会とした。

3. ピアレビューの実施

平成25年度に実施したピアレビューの仕組みをそのまま踏襲し、平成26年度も実施した。前期は7月7日(月)から2週間、後期は12月8日(月)から2週間の授業公開期間を設け、見学者は見学後の感想を記載し、公開者はその感想を基に授業の振り返りを行った。公開される授業数は昨年度に比べ増加したが、見学者数は横ばい、参加する教員は固定化する傾向が見られた。

4. 定期的なFD部会開催とFD活動報告の作成、年報への収録

月1回定例にて会議を開催し、FD活動の企画・運営、情報収集など実施した。

5. FDネットワーク“つばさ”など外部セミナーへの参加による情報授受

FDネットワーク“つばさ”FD協議会(6/7 於山形大学)に参加し、他大学の教職員とFDに関する諸問題及び対応策と問題意識を共有した。また、FDネットワーク“つばさ”週刊授業改善エッセイに参加した。

6. 今後の活動について

平成 27 年度は、教育に関連する新しい情報に広く目を向け、適切に取り込みながら、前年度の取り組みを継続、発展させることを基本方針とする。各事業の重点課題と取り組みの方策は次のとおりである。

(1)学生による授業評価

重点課題：対象科目の拡大と形成的評価の強化

取り組み：①学外実習評価アンケートの実施

②授業中間アンケート実施率向上に向けた PR 活動

(2)FD 研修会・FD ワークショップ

重点課題：教育に関連する最新情報の共有と、教員のニーズに沿った体験的学習の拡大・充実

取り組み：①外部講師による ICT を活用した最新の教育環境や教育技術に関する研修の開催

②学外から話題提供者を迎えること等によるワークショップの内容の拡大・充実

(3) ピアレビュー

重点課題：参加者の拡大と授業改善への活用

- 取り組み：①ピアレビューの実施時期・方法の見直し
②見学者からのフィードバック方法の見直し

(4) 定期的な FD 部会開催と FD 活動報告書の作成、年報への収録

重点課題：FD 活動における PDCA サイクルの循環

- 取り組み：①FD 活動報告書による FD 活動実績と今後の方針の学内への周知
②FD 活動に対する継続的な意見集約とフィードバック

(5) FD 活動の活性化・充実化に向けた情報授受

重点課題：持続的な情報授受と学内への迅速な発信

- 取り組み：①FD ネットワーク “つばさ” や他大学の FD セミナーへの参加
②反転学習、IT を駆使した授業等、最新の授業ツールに関する情報収集と学内への発信
③ホームページ等による本学の FD 活動に関する学外への情報発信
④FD-SD 連携に関する情報収集

以上